

パブリックコメント募集結果

①意見募集項目

「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画（案）」について

②意見の募集期間

平成27年12月7日（月）～12月28日（月）17時まで

③意見募集の方法

郵便，ファックス，持参および盛岡公式ホームページの応募フォーム

④意見の件数

中期期計画（案）への意見18件（個人7名）。

⑤意見反映区分

- ・「A」：計画等に盛り込むもの
- ・「B」：計画等に盛り込み済みもの
- ・「C」：計画等に盛り込まないもの
- ・「D」：その他，要望・意見・感想等

⑥意見の一覧・・・別紙

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
1	<p>学校の校舎などは、特に現時点では必要性はないと考える（基本、校舎内は、関係者以外は立ち入れないため、あくまでも外見的判断として）。ただし、小学校は、市内中心部とその付近はともかく、そこから大きく離れた地域に設置されている小学校などは校舎が古い状態であり、また既に廃校になった小学校跡地などの利用保存方法が不明確である。以前「まちづくり懇談会」に参加した際に、乙部及び黒川の住宅跡や大ヶ生小学校跡地のことについて話題が出ていたが、地元であっても、その後の計画がどうなっているのかが分からないことがある。跡地などについても、状況についても、もう少し市側で説明が必要である。</p>	<p>廃止された学校や住宅などの中期計画の対象外の施設につきましても、今後、施設管理の計画を策定することとしておりので、御意見を踏まえて、この計画の策定時には皆様に説明いたしたいと考えております。</p>	D
2	<p>財源確保や少子高齢化については、本当に少子高齢化対策を考えているものだけを計画に入れば良く、ただ「女性のみ」や「若者のみ」だけのものでは、実質的には少子高齢化対策にはならないものである。女性センターのような基本的には「女性のみ」という名称のものであれば、これらは「女性活躍推進」であるため、少子高齢化対策には入れるべきではないと考える。また財源は「女性だけを支援する」ものに使うのではなく、少子高齢化を考えるものに対して使うべきである。</p> <p>また、高齢者についても「格差」は生じているものである。市役所職員や公務員などは定年後も安定した生活が送れるが（次の職場の確保や年金や退職金などがあるため）、それ以外の高齢者では現在でも仕事（しかもパート扱い）をしないと生活できない者もいる。これについても支援するような施設があれば良いと考える。</p>	<p>御意見として参考とさせていただきます。なお、御指摘のありました対象施設につきましては、既存の庁舎、学校、教育文化施設、市営住宅など建築物系施設のうち行政財産をこの計画の対象としているものであり、御理解いただきたいと存じます。</p>	D
3	<p>仁王地区の地域拠点施設を「仁王地区活動センター」としているが、仁王地区の16町内会と仁王地区活動センターの距離等の地域事情を考慮し、仁王地区の地域拠点施設は、「仁王老人福祉センター（仁王児童センター）」にすべきと考えているが如何ですか。</p>	<p>御指摘のとおり、児童・老人福祉センターの方が地区の中心にありますことから、皆様の利便性を考慮し、「仁王老人・児童センター」を地域拠点施設に修正したいと考えております。</p>	A

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
4	<p>市庁舎について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現市庁舎は当面建替えはないようだが、建替え前に、市庁舎最上部にある市章は改善をお願いしたい。あの緑地は見た目あまり好ましく見えない。もっと落ち着いた色合いを希望する。 	<p>市庁舎には以前、現在の塔屋の更に上部に、壁面に市章を形取った展望階がありましたが、老朽化による耐震性の不足により倒壊の危険性が指摘されたために、平成23年に解体し、翌平成24年に現在の塔屋に市章を設置いたしました。</p> <p>設置した市章の色につきましては、緑地に白の市章と規定されております本市の市旗に準じて、緑色を使用したものであり、御理解いただきたいと存じます。</p>	D
5	<p>ホールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いずれの施設も築20年前後と比較的新しいことから～」とあり、盛岡劇場は大規模な修繕が当分の計画だが、中の設備はだいぶ古いので、故障する前に設備更新を計画し、実施してほしい（実際、過去夏場に空調設備が故障し、館の使用が一部制限されたことがある。）。 	<p>この中期計画策定後、修繕や大規模改修について、一定の時期（築後20年、40年、60年）に計画的に行うこととしておりますが、個々具体の修繕につきましては、御意見を踏まえて、この中期計画とは別に、緊急性などを考慮しながら優先順位を付け修繕を行ってまいりたいと存じます。</p>	D
6	<p>記念館・資料館について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「重複した機能を有している機能があるから～」とあり、盛岡てがみ館の資料移管を計画しているようだが、本当に重複しているか実際の所有文化財を確認されているのか？ <p>私が実際に見て思うのは、郷土の先人や偉人関連以外、一般市民や当時の知識人でやり取りされた手紙が多いということ。正直、先人・啄木記念館に移管したら、偉人らに関連しない手紙は日の目を見なくなるだろう、と考えている。そうしたスペースがあるとは思えない。</p> <p>これらも大切な文化財であり、公開できるよう考えての計画を考えてほしい。</p> <p>資料だけでなく、てがみ館は機能移転し、先人記念館等他施設との複合化を考えるべきではないか。</p>	<p>盛岡てがみ館につきましては、現てがみ館の機能を確保した上で、先人記念館、啄木記念館などの複数の施設に分散機能移転することとし、この中期計画により方向性が定められた後、具体的に、検討することとしております。なお、資料の保存や展示方法等については、御意見を参考にさせていただき、資料が有効に活用されるよう検討してまいりたいと存じます。</p>	D

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
7	<p>記念館・資料館について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原敬記念館も、先人記念館との連携した在り方を考えるとしているが、漠然としすぎている。てがみ館のようになぜはっきり打ち出さないのか。複合化か、統合かの方向性は明示してほしい、できないならどう検討を進めるのかを開示してほしい。 また、統合にせよ複合化するにせよ、現原敬記念館跡地はどう活用されるのかも打ち出してほしい。跡地を全てなくし別物にするのはもったいないと思う。 	<p>原敬記念館の先人記念館との連携した施設の在り方の検討につきましては、時間をかけて議論が必要であるとの認識にたち、御意見等も参考にしながら、複合化や統合の方向性について、この計画の10年間で検討してまいりたいと考えており、その検討結果により、平成38年度以降の先人記念館の大規模改修時に対応してまいりたいと存じます。</p>	D
8	<p>全体的に色々な施設を統廃合していく計画だが、ただ箱ものをなくすことしか考えていないように感じ取れる。そこにあった機能をどう移管するか、移管してどう管理or運営していくのかが読み取れない。</p> <p>本計画が、なくして良いものかを吟味した上での計画であることを祈る。</p> <p>それと、市民説明会を実施したとあるが、10回の参加者合計365人というのがあまりにもお粗末に感じられる。実際私もいつあったのか知らなかったしいつ開催されるかの告知も見えていない。もう少し公に周知する努力が必要ではないか。</p>	<p>この中期計画は、10年間におけるその施設の方向性を定めるもので、個々具体の施設の管理運営方法については、その方向性に基づいて、より利活用される施設になるよう今後詰めていくものであります。</p> <p>なお、市民説明会の告知については、広報もりおか、市のホームページに掲載するとともに、各福祉推進会等に周知をお願いしたほか、各施設に掲示するなどさまざまな方法を用いたところがあります。</p>	D

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
9	<p>39ページの計画案より、盛岡てがみ館の展示資料の移転とあるが、機能移転として考えていただきたい。</p> <p>てがみ館の資料は盛岡の先人や石川啄木関係以外にも一般市民の手紙など資料も多数ある。これら資料は先人記念館に移転しても展示される機会がなく、埋没してしまうと思う。そのためにも資料の調査・研究ができ、展示ができる場として盛岡てがみ館を残していただきたいと思う。</p> <p>例えば、これから建築予定の石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館に盛岡てがみ館も含めた複合化なども検討できるのではないか。</p>	6と同じ。	D
10	<p>記念館・資料館について、長期計画の方向性については、基本的に賛成です。ただ、『重複した機能を有している施設の集約化』について、資料や展示の意図を十分に考慮した上での整備が必要と考えます。経済効率のみを重視し、展示物の意図を軽視した整備は、貴重な文化的な資産に市民が触れ、知る機会、学ぶ機会を失うことになるからです。しがたって、場合によっては、集約せずに現在の施設の継続、内容の検討という方向を模索していただきたいと考えます。</p>	6と同じ。	D

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
11	<p>『ア 盛岡てがみ館の展示資料の先人記念館や石川啄木記念館への移転，産業支援センターへの転用』について，「盛岡てがみ館」は，「てがみ」という形でその時代背景や人物像を浮き彫りにするたいへん興味深い，おそらく全国でも類をみない展示手法をとっている施設と思われます。文字離れが進む現代においては万人受けする施設とは決していけない，だからこそ「てがみ」という文字に込められたメッセージ性の大切さを市民に紹介し，またその時代時代に生きた盛岡の先人や盛岡と関わりの深い人々の息づかいや時代の香りを知ることができる展示は，極めて重要であると考えます。これらの「てがみ」という貴重な資料が他の記念館に移転すれば，その展示意図は薄まり，他の視覚的に目立つ資料の中に埋没し，市民に知られることなく，盛岡の先人のさまざまな想いが知られることなく，その多くの資料が収蔵庫にいたずらに眠ってしまうことは明らかです。</p> <p>一方で，これだけ貴重な資料を展示しながら，「盛岡てがみ館」という施設が市民にあまり知られていないのも事実です。例えば「盛岡てがみ館」という名称から展示内容をイメージできません。私が初めてこの施設を知った時，手紙に関連する物（ハガキや切手）を販売している施設？程度にしかイメージできませんでした。内容を反映するような施設名，例えば「盛岡先人てがみ館」とか「盛岡てがみ人物館」など展示内容がイメージしやすいネーミングが必要と思います。また，施設が非常に分かりにくい場所にあることから看板の掲示内容や掲示方法の工夫が必要と思います。さらに根本的な検討課題として，市民への展示内容のアピールの仕方が挙げられます。常設展示とは別に行われる企画展について，学校への紹介や広報等を通じて，もっと分かりやすい興味を引くようなアピールの仕方の検討の努力がなされるべきと思います。</p> <p>したがって，さまざまな検討を加え現在の施設を継続することを要望します。併せて上記の重要性を関係者が再認識し，企業努力ならぬ市および運営団体の努力を期待します。</p>	6と同じ。	D

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
12	『イ 石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館との複合化』について、「石川啄木記念館」については、施設の老朽化など課題があるので施設の存続方法は検討が必要と思います。「玉山歴史民俗資料館」という施設については知りませんが、少なくとも石川啄木の原点とも言える玉山の地域性を上手に融合できれば、効果的な展示にすることも可能と考えます。ただ、「石川啄木」の名前を残した施設にすることや、展示意図の違う施設の複合であることから、展示のあり方には十分に工夫や検討がなされる必要があると思います。	貴重な御意見として承ります。施設の名称や展示方法などについては、御意見を参考に検討してまいりたいと存じます。	D
13	『ウ 原敬記念館の先人記念館との連携した施設の在り方の検討』については、賛成です。原敬も盛岡市が生んだ偉大な先人の一人として、先人記念館との連携の下に広く紹介される方策を検討していただきたいと思います。	6と同じ。	D

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
14	<p>長寿命化中期計画に伴う盛岡てがみ館の移転について、下記のとおり御検討をお願いいたします。</p> <p>盛岡てがみ館は、市の長寿命化中期計画により、保有する資料を先人記念館並びに石川啄木記念館に移管させ、早ければ7年後に現在地より移転し、その跡地に産業支援センターが入居する方針とのことですが、その際、現存する収蔵庫の取り扱いはどうなるのでしょうか？新しく入居予定の産業支援センターに収蔵庫は必要ないと思われまので、おそらく取り壊しになるのかもしれませんが、年々増え続ける資料の保管場所に頭を悩ませている施設が多い中、多額の費用をかけて建設した収蔵庫をわざわざ取り壊すことには疑問を感じます。また、他施設にとっても限られた収蔵庫スペースの中に自館のみならず他館の資料まで受け入れるのは難しい状況なのではないでしょうか。</p> <p>博物館資料を学校等の空き部屋に一時保管する案もあるとのことですが、セキュリティの問題や害虫、カビ等の環境問題、資料寄贈者からの信頼の失墜等考慮すべき課題が多々あると存じます。</p> <p>よって将来的に移転することがやむなしとしてもせめて他施設の大規模修繕時期に併せることが望ましいのではないかと思います。</p> <p>盛岡てがみ館は、「個人の手紙」という第一級の文化遺産を守り、市民の共有財産として後世に残していくことを使命とし、設置された博物館とのことですが、先人記念館や石川啄木記念館では、採りあげることがない一般の方々の手紙も多数保有されており、それらが近年「戦時下の手紙」、「戦後70年記念 家族のてがみ」等の企画展にて紹介され、多くの反響があったと聞き及んでおります。時代背景や個人の思いが込められた直筆の手紙だからこそ、観る人の心に響いたのではないかと思います。</p> <p>このように盛岡てがみ館が所蔵した顕彰先人外の方々の貴重な資料とこれまでの調査研究の成果が、この移転計画によって埋もれてしまうことがないような道筋をたて、盛岡てがみ館の存在意義を考慮していただければ幸いに存じます。</p>	6と同じ。	D

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
15	盛岡中央通勤労青少年ホームについて「集約の際は、稼働率や利用時間、人口に応じた面積保有量を勘案して施設を複合化」とあるが、勘案を具体的に提示されたい。また、それに伴って内部の活動や機能（利用者会自治会活動、クラブ活動）の低下、縮小、休止といった悪影響が懸念される。その影響をどのようにお考えか、こちらも具体的にお聞きしたい。	計画の策定に当たっては、施設の建物性能及び利用運営状況の定量的な情報による一次評価を経て、地理的特性、利用実態、サービスの重要性や代替手法の有無、役割分担、機能の重複、施設の有効性などの定性的な情報による二次評価の結果に基づいて、施設の用途ごとの個別施設の保有の見直しや長寿命化工事の実施時期を定めております。 なお、廃止する施設については、その代替機能を確保することを基本として計画に盛り込んでおり、御理解いただきたいと存じます。	D
16	盛岡中央通勤労青少年ホームについて実利用者へ具体的な説明を行う機会と意見交換をする機会を設けてはどうか。また、出された意見は汲み上げていただけることを期待したい。	計画策定に当たっては、各コミュニティ推進地区ごとに市民説明会を開催し、市民の皆様の御意見をいただいたところですが、実利用者への説明についても、その機会を設けたいと考えております。	D
17	盛岡中央通勤労青少年ホームを通して周辺地域との関わりが増えてきた。これからも既存の関係を深め、交流活動を継続していきたい（こども会との交流、祭りの手伝い、除雪作業）。	交流活動については、評価するものであり、引き続き活動がなされるようご期待するものであります。	D
18	盛岡中央通勤労青少年ホームについて、集約に伴っての利用者に対する費用対効果はどのようにお考えか。	施設の機能移転に伴い、施設まで遠くなる場合もあり、利用者の皆様には御負担をお掛けすることもあると存じますが、現状の施設をこのまま維持することは、厳しい財政状況の中、極めて困難であると考えております。また、少子高齢化の進展に伴う人口構造の変化に伴い、市民の皆様のニーズも変化するものと考えられることから、このニーズの変化に対応し、持続可能な市民サービスを提供するためには、施設の複合化、転用、廃止などが必要であり、御理解いただきたいと存じます。	D